

報道関係各位

2019年1月15日
セイコーエプソン株式会社

高速ラインインクジェット複合機/プリンターが「平成30年度省エネ大賞 資源エネルギー庁長官賞」を受賞



セイコーエプソン株式会社（本社：長野県諏訪市、社長：碓井 稔、以下エプソン）は、このほど一般財団法人省エネルギーセンターが主催する（後援：経済産業省）平成30年度省エネ大賞（製品・ビジネスモデル部門）において、高速ラインインクジェット複合機/プリンター「LX-10000Fシリーズ・LX-7000Fシリーズ」が「資源エネルギー庁長官賞」を受賞したことをお知らせします。

受賞に至るまでには、二次審査を兼ねた地区発表大会（3地区74件の応募者が参加）においても、わかりやすく、有意義な発表を行った案件に授与される「優秀プレゼンテーション賞」を受賞しています。

受賞内容は下記の通りです。

■受賞部門

平成30年度省エネ大賞（製品・ビジネスモデル部門）資源エネルギー庁長官賞

■受賞製品

高速ラインインクジェット複合機/プリンター「WorkForce Enterprise LX-10000Fシリーズ・LX-7000Fシリーズ」

■受賞理由

「本製品は、プリンターメーカーである同社がこれまで培ったインクジェット技術を進化させ、レーザー方式と比較して高速印刷性能や品質面で課題のあった点を克服し、省エネ性能の高い製品を完成させたオフィス向け高性能複合機である。本製品の開発に当たって同社は、高速/高品位印刷を可能とするラインヘッド及び高速ヘッドメンテナンス機構の開発、静電吸着ベルト紙搬送の開発等に取り組み、商品化を行った。これらの独自開発技術により、国際エネルギースタープログラムの適合基準の1/28となるTEC

値 1.2kWh を達成することで、100ppm において既存のレーザー方式平均に対し約 1/8 の 1 枚当たりの電力量を実現、同時に消耗品や定期交換部品の交換頻度を約 1/2 に低減、低い印刷コストなどを実現した。*数値は最上位機種 LX-10000F の場合]

■代表取締役 専務執行役員 プリンティングソリューションズ事業部長 久保田孝一 受賞コメント
我々はインクジェットイノベーションを通して、オフィスの省エネ化に取り組んできました。今回の受賞はこの活動に大きな励みとなります。今後も、高まる環境意識へ対応する革新的な商品やサービスを提供していきたいと思えます。

■製品特長（貢献する SDGs をアイコンで示します）

消費電力量はレーザー方式の約 1/8^{*1}

インクジェット方式は、印刷速度が速くなっても消費電力を低く抑えることが可能な点が大きな特長です。一般的なオフィスで普及しているレーザー方式の A3 カラー複合機の平均値と比べ、エプソンの LX-10000F シリーズの消費電力量は約 1/8^{*1} となり、その高い省エネ性能を示しています。国際エネルギースタープログラムに高水準で適合^{*2} しているとともに、最大消費電力も低く抑えることで、災害時の限られた電源環境においても大きな負荷をかけることなく稼働できます。



100 枚/分^{*3} の高速印刷と高画質を両立

高速印刷を可能にするため、A3 ノビ用紙幅のラインヘッドを開発しました。インク吐出ノズルを高密度化した新開発の PrecisionCore マイクロ TFP プリントチップを斜めに配列することで高速印刷と 600×1,200dpi の高画質を両立しています。さらに、高速搬送でも用紙がぴったり吸着して搬送される静電吸着ベルトを搭載し、インクの着弾精度を高め、高速印刷と高画質の両立を支えています。



消耗品&定期交換部品の交換回数および質量が 1/2^{*4}

大容量インクカートリッジと少ない定期交換部品により、メンテナンスの手間と時間を省略でき、省資源にも貢献します。100 万枚印刷した際に必要となる消耗品などの量および交換回数を比較すると、LX-10000F シリーズは、レーザー方式の約 1/2^{*4} となります。



*1 : LX-10000F シリーズの場合。1 枚あたりの電力量の比較シミュレーション。A3 カラー複合機 45-55 枚/分クラス 10 機種を販売台数上位より選択（2016 年の出荷台数出典: IDC's Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2017Q3）し、各機種における印刷 1 枚あたりの消費電力量の平均値との比較。TEC 値は energystar.jp/ に登録されている値（2017 年 11 月現在）を採用し、TEC 値算出条件を用いてエプソンにて算出。

*2 : オフィス機器の国際的省エネルギー制度。製品の稼働、スリープ、オフ時の消費電力などについて、省エネ性能の優れた上位 25% の製品が適合となるように基準が設定されています。オフィスでの使用を想定した標準的な 1 週間の消費電力量を示す TEC 値は LX-10000F シリーズが 1.2kWh、LX-7000F シリーズは 0.9kWh。

*3 : LX-10000F シリーズ A4 横片面の場合。LX-7000F シリーズは 75 枚/分です。印刷パターンは ISO/IEC 24734 を使用。詳細は、エプソンのホームページをご確認ください。

*4 : エプソンの委託を受けて、調査を行った Keypoint Intelligence-Buyers Lab による、LX-10000F シリーズと同等クラスのカラーレーザー複合機（65-70ppm）2 機種との比較評価結果。100 万枚印刷時に必要な消耗品と定期交換部品の交換頻度および質量。本製品をご使用いただいているお客様の平均的な 5 年間の印刷枚数を 100 万枚として評価。印刷パターンは ISO/IEC 24712 を使用。詳細はエプソンのホームページをご確認ください。

詳細は下記ウェブページ「インクジェットで環境対策」をご参照ください。

https://www.epson.jp/products/bizprinter/inkjet_eco/

エプソンは、経営理念に掲げる「地球を友に」、「社会とともに発展する」、「なくてはならない会社」を目指し、2030年に世界が目指すSDGsの達成をはじめ、持続可能な社会の実現に向け、常にお客様や社会の課題に真摯に向き合い、事業活動を通じてエプソンならではの環境価値を創出し続けるよう取り組んでいきます。

なお、受賞商品は、2019年1月30日～2月1日に東京ビッグサイトで開催される「ENEX2019」のアワードコーナーでの展示を予定しており、初日には省エネ大賞の授賞式が執り行われます。

【関連リンク】

省エネ大賞

<https://www.eccj.or.jp/bigaward/item.html>

ENEX2019 公式サイト

<http://www.low-cf.jp/east/>

以上